

秋田県高等学校の再編整備構想検討委員会 第4回会議 県北地区部会（概要）

1 日 時

令和4年9月2日（金） 15：04～16：01

2 場 所

秋田地方総合庁舎 総603会議室

3 出席者

- 秋田県高等学校の再編整備構想検討委員会委員 7名
- 事務局（高校教育課） 5名

4 協 議

委員からの主な意見

- ・進学を中心校の学級数は1学年6学級程度を維持することが望ましいとあるが、県北地区部会ではそれが現在の実情に合わないと考えている。しかし、中央地区では6学級程度が妥当であるといった意見も出されており、地区により差があると感じた。全県一律に基準を当てはめていくのは不可能ではないか。
- ・志望者数が6学級の定員数を充足する状態を維持している学校は、学級数を減少させなくても良いと思う。志望者の状況を見ながら適正な規模を考えてもらいたい。
- ・各地区部会からの報告を聞き、同じ部分もあれば温度差のある部分もあると感じた。その温度差は人口や学校の数の違いであり、県北地区や県南地区は、再編整備を進める際の選択肢がそんなにはない。何らかの形で地域事情を考慮する必要があるのではないかと思う。
- ・秋田県では人口減少問題が一番大きな社会課題である。人材育成を進めていく企業の立場からすると、学校と連携し、地元就職率をどのように上げていくかということも、人口減少問題を改善する方法の一つになり得ると思う。
- ・少子化のスピードは、県北と県南では今後もかなり早く進んでいくことになる。県としても、スピーディーな統合等再編へ向けた対応と危機感をもっていただきたいと思う。